

令和7年度 下越地区中学校卓球大会 要項

- 1 期日 令和7年6月6日(金)・20(金)・21(土)
 2 会場 新発田市カルチャーセンター 〒957-0054 新発田市本町4-16-83 (0254-23-3050)
 3 主催 新潟県中学校体育連盟 下越地区中学校体育連盟
 4 共催 新発田市教育委員会
 5 主管(協力) 新発田市中学校体育連盟
 6 後援 新発田市スポーツ協会
 7 日程

	1日目	2日目	3日目
開場	8:00	8:00	8:00
受付	8:10～8:30	8:10～8:30	8:10～8:20
監督会議・公式練習	8:30～9:00	8:30～9:00	8:20～8:50
開会(開始)式	9:05～9:25	9:05～9:25	
会場準備	9:25～9:30		
試合開始	9:30	9:30	9:00
終了予定	16:10	16:30	14:30
閉会式			14:40～15:10

※公式前日練習 19日(木) 16:30～17:45 (対象は佐渡、粟島の学校)
 20日(金) 14:00～16:20 (対象は個人戦のみに出場する佐渡、粟島の学校)

- 8 組合せ 5月15日(木)午前9:30～ 聖籠中学校にて、専門委員で抽選する。
 9 チーム 監督1名(当該校教員・部活動指導員、地域クラブ活動指導者)
 アドバイザー1名(当該校教員・部活動指導員または外部指導者、地域クラブ活動指導者)
 選手10名、マネージャー1名(教員・部活動指導員、地域クラブ活動指導者または生徒)
 計13名

10 出場数 団体戦:各チーム1 個人戦:各チーム8人以内

11 参加資格 選手は当該校の校長が承認した生徒であること。もしくは、新潟県中学校体育連盟へ参加認定を申請し、承認された地域クラブ活動に所属している中学生であること。

12 試合方法

- (1) 団体戦・個人戦とも1試合1点5ゲームスマッチとする。
 (2) 団体戦 ○4シングル 1ダブルス ダブルスを3番におき6名で構成する。
 ○男女別の全校在籍生徒数が4・5名でも出場できるが、オーダーは次のように置き、該当チームは監督会議で申し出る。 5名→2・3・4・5番、4名→3・4・5番
 ○上記の場合以外、申し込み時点で選手数が6名に満たない場合は、出場資格がない。

13 試合日程 原則的にタイムテーブルによって、試合を進行する。タイムテーブルより遅れた場合及び遅れる恐れがある場合は、時間とコートを変更する場合がある。また団体戦は、参加チーム数によって以下の試合形式を若干変更することがある。

1日目(佐渡地区のぞく) ○団体戦予選リーグa～h(1リーグ3～4チーム総当たり)
 ※各リーグ1位の8チームが準決勝リーグにすすむ。

○個人戦(ベスト128まで)

2日目(佐渡地区含む) ○団体戦準決勝リーグA・B(各リーグ5チーム総当たり)
 ※各リーグに佐渡からの1チームが入る。

○団体戦決勝リーグ

※各リーグ1、2位チームによるリーグ戦

3日目(佐渡地区含む) ○個人戦男女(2回戦から決勝まで)

※佐渡地区12名はベスト128から参加

※個人戦は、シード権(3～8位)決定戦を行う。

14 申込 参加校は所定用紙に記入し、5月12日(月)必着で当該郡市中体連事務局まで、参加料(一人400円)を添えて申し込む。あわせて、デジタルデータを下記メールアドレスまで送信する。seityuu@town.seiro.niigata.jp(ファイル名は"〇〇中参加申込(卓球)"とする)

※佐渡地区は佐渡地区大会終了後、速やかに申し込む。

15 表彰 団体戦3位まで(1、2、3、3位)
 個人戦5位まで(1、2、3、3、5、5、5位)

16 県大会出場 男女とも団体戦上位3チーム 個人戦ベスト16

17 競技上のルール及び注意事項

ルール 現行の日本卓球ルールと本大会要項による。

試合球 日本卓球協会公認球のニッタク3スタープレミアムクリーン(40mm)を使用する。

選手 ①選手は、プレー領域では短パン、ユニフォームでゼッケンを正しく着用する。
 ②ラケット、ラバーは正規のものを使用する。違反の物は使用できないので、ラケットは取り替え、ラバーは貼りかえる。なお、ラバー破損の判定は、内部に破損箇所がある、もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。

③ラバーを貼りかえる必要が生じた時は、指定された場所で、決められた接着剤または接着シートを用いて貼ること。

④団体戦の第1試合では、選手のユニフォームをそろえることが望ましい。

⑤選手は原則的に自分の試合が終了するまでプレー領域を出でていけない。

⑥不正サービスと判断した時は、1回目注意、2回目からはボールストップをかけ、審判長の判断をあおぐ。特に次の2点に注意。

○手のひらから16cm以上の高さにボールをほぼ垂直に上げ、最高点から落下する途中で打つ。
 ○サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスよりも高い位置で、かつサーバー側のエンドラインの後方になければならない。またその間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物で、ボールをレシーバーから隠してはならない。さらにボールが手のひらから離れたら、すぐにフリーハンドと腕を、ボールとネットの間の空間の外に出さなければならない。

⑦1マッチに1回1分以内でタイムアウトをとることができる。タイムアウトを要求できるのは、団体戦では監督・競技者・組、個人戦では競技者・アドバイザーである。

⑧促進ルールは適用しない。

⑨競技の進行を故意に妨げない。(タオルの使用・眼鏡ふき等は6本ごと、ゲーム間の休憩は1分以内、サービスをする前などに床に何回もボールをつかない。)

⑩団体戦のアドバイスはベンチの誰から受けてもよい。個人戦のベンチに入るアドバイザーは1マッチ1名とする。(マッチ途中でのアドバイザーの交代はできない。)

⑪ベンチ、ギャラリーなどからの応援は拍手のみとし、バッドマナーにならないように注意する。フラッシュ・ストロボ撮影は禁止。

○練習は公式練習のみとする。

○飲み物をフロアに持ち込む場合は、ペットボトル・スクイズボトル等を使用する。

○選手宣誓は前年度団体戦優勝校(今年は男子=新発田市立川東中学校)

18 競技役員

競技委員長 五十嵐めぐみ(紫雲寺中学校長)

競技副委員長 青山亮(紫雲寺中学校教頭) 羽貝幾生(下越地区専門部長)

総務 羽貝幾生(聖籠) 田中正朗(猿橋) 加藤廣章(荒川)

谷澤祐介(村松桜) 渡邊隆晴(両津) 長野博十(五泉川東)

向正(安田) 伴田寛明(神林) 富田美覚(本丸)

審判長 <後日決定>

進行 <後日決定>

記録 <後日決定>

審判割 <後日決定>

県大会申込受付 羽貝幾生(聖籠)

式典・会場 <後日決定>

救護 <後日決定>

19 生徒役員

式典・会場係は協力校・団体、専門委員の学校の卓球部員で構成する。

20 その他

①個人戦のアドバイザーは最大で出場選手数まで登録でき、どの選手にどのアドバイザーが付いてよい。登録された外部コーチも同様である。

②コーチ、アドバイザーについては当日の変更を認める。(追加は不可。監督会議で申し出る。)

③水泳・陸上競技での県大会出場を優先したい選手は、3日目の個人戦には出場しないこと。

④「下越地区大会参加における申し合わせ事項」を守る。

⑤緊急病院名 <大会プロに記載>